

グループ営業概況

第1次中期経営計画の2年目を迎え、合併による効率化及び経費削減による効果の再投資と営業体制の再構築による営業力の強化をすすめてまいりました。その結果、預金、貸出金ともに計画を上回る増加となり、業容は大幅に拡大いたしました。また、投資環境の悪化により投資信託の販売は低調となったものの、個人年金保険等の販売が好調に推移し、預かり資産販売手数料も順調に増加いたしました。経費については、前期における子銀行間の合併による効率化の効果が現れ、減少いたしました。

また、堅調に推移していた地域経済について、一部地域において景況感に陰りが見えはじめたものの、不良債権処理額を含む与信費用については、前期とほぼ横這いとなりました。

以上により、連結経常収益は895億58百万円、連結経常費用は789億41百万円となり、連結経常利益は106億17百万円、連結当期純利益は133億59百万円となりました。

なお、紀陽ホールディングス単体の業績につきましては、子銀行からの受取配当金などの収入により、営業収益が28億63百万円、営業利益が24億14百万円、経常利益が23億73百万円、当期純利益が23億22百万円となりました。

なお、平成19年11月には、子銀行である紀陽銀行が保有する当社株式を買入消却し、グループ間における資本関係の適正化をはかりました。

主要な経営指標

	(単位)	平成19年3月期	平成20年3月期
連結経常収益	百万円	80,683	89,558
連結経常利益	百万円	8,206	10,617
連結当期純利益	百万円	8,180	13,359
連結純資産	百万円	154,644	146,049
連結総資産	百万円	3,326,278	3,513,031
1株当たり純資産	円	159.53	148.12
1株当たり当期純利益	円	12.46	17.19
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	円	10.78	15.02
連結自己資本比率(第二基準)	%	11.58	10.65

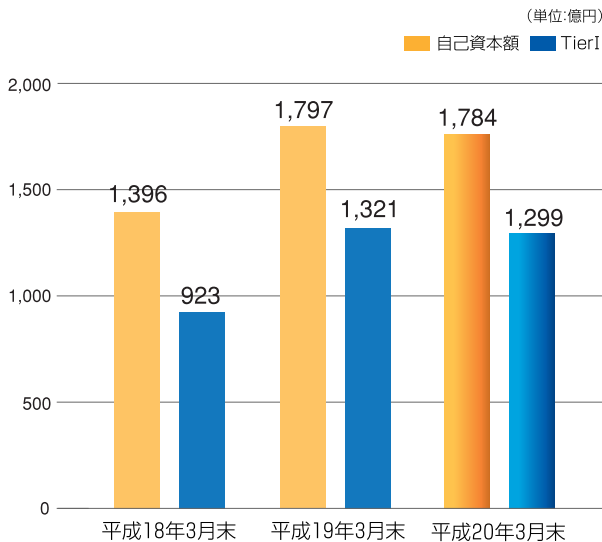


堀止支店（和歌山市）

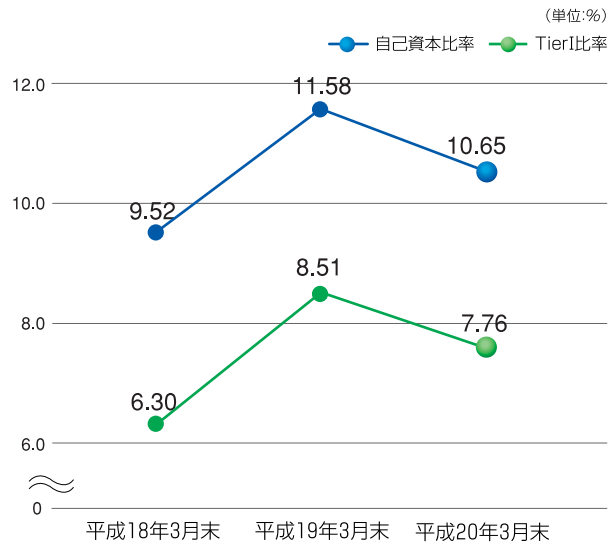
自己資本の状況

平成20年3月期においては、連結当期純利益を133億円計上したものの、その他有価証券評価差額金が▲143億円となったことにより、自己資本額は前期比13億円減少いたしました。また、貸出金が順調に増加したことなどによりリスクアセットは1,230億円増加しました。この結果、紀陽ホールディングスの連結自己資本比率（第二基準）は、10.65%となりました。

■連結自己資本額の状況 紀陽ホールディングス連結



■連結自己資本比率の状況 紀陽ホールディングス連結



	平成18年3月末	平成19年3月末	平成20年3月末	平成19年3月末対比
自己資本額	1,396億円	1,797億円	1,784億円	▲13億円
うちTier I	923億円	1,321億円	1,299億円	▲22億円
うちTier II	479億円	476億円	484億円	+8億円
リスクアセット	14,661億円	15,518億円	16,748億円	+1,230億円
連結自己資本比率	9.52%	11.58%	10.65%	▲0.93%
連結Tier I比率	6.30%	8.51%	7.76%	▲0.75%
繰延税金資産額	333億円	290億円	320億円	+30億円
Tier I対比	36.1%	22.0%	24.6%	+2.6%

配当方針

利益配分に関しましては、銀行持株会社の公共性に鑑み、長期的に安定した経営基盤の確保や財務体質強化のために、適正な内部留保の充実をはかりつつ、安定的な配当を実施することをめざしております。当期の配当につきましては普通株式1株につき50銭増配し年間3円とし、その他の優先株式についてはそれぞれ所定の優先配当をお支払いさせていただきました。なお、平成21年3月期につきましては、第1次中期経営計画の最終年度を迎え、より一層収益力の強化と業務の効率化を進め、計画を着実に遂行することにより普通株式の配当増額をはかる方針であります。平成21年3月期の配当につきましては、普通株式1株につき年間で4円への増額を予定しております。